

4. 社会福祉学科 専門教育科目 体系図

科目群の学習目標・到達目標

■社会福祉の意義、および社会福祉の基礎理論について理解する
 社会福祉学科の教育課程編成の基本方針とともに、社会福祉学に関する代表的な理論・援助技術を理解・修得し、併せてソーシャルワーク教育の重要性、ソーシャルワークの意義と責務及び職務内容について理解を深め、ソーシャルワークに対する情熱や使命感、及び福祉マインドを持ったソーシャルワーカー、教育者、企業人等として自らの目指す方向性を明確にします。

- ・社会福祉の原理(歴史・思想・哲学・理論等)と福祉政策(理念・法制度・社会システム・ビジョン)の基本について学びます。
- ・ソーシャルワーカーに必要な医学や公衆衛生学(医療や公衆衛生)に関する基礎知識を学びます。
- ・心理学の基礎を踏まえて、人の心理的反応と発達過程、基礎的な心理療法を理解します。
- ・現代社会の特性や生活の多様性、人と社会との関係、社会問題と背景を学びます。

■相談援助をはじめとする社会福祉方法論とともに、相談援助(ソーシャルワーク)の意義について理解する
 相談援助をはじめとする社会福祉方法論を修得することで、相談援助の方法とその意義、ソーシャルワーカーの責務及び職務内容について理解するとともに、ソーシャルワークに対する自身の適性を判断し、実践活動に対する情熱や使命感を高めます。

- ・社会福祉士、精神保健福祉士の法的な位置づけ、形成過程、倫理を理解し、職域に求められる役割について理解します。
- ・相談援助に関する代表的な理論・援助技術を修得します。
- ・ソーシャルワークにおける専門職の概念と枠組みを学びつつ、包括的・総合的な支援の全容を理解します。
- ・さまざまな環境のなかで生じる生活問題に対処するためのソーシャルワーク実践の全体像を理解します。
- ・社会福祉士として多様化・複雑化する社会の諸課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解します。
- ・社会資源の活用意義を踏まえ地域における社会資源の開発やソーシャルワーク実践への展開について理解します。
- ・支援が必要とする人との支援関係の形成やニーズの掘り起こしに必要な知識と技術を理解します。
- ・個人や家族の主体性を尊重し、個人がもつ力を強化し、社会開発に挑戦していくことについて理解します。

■社会保障制度・政策についての理解を基に、福祉サービス提供組織の役割と経営の基礎理論、社会福祉の政策過程を理解する
 超高齢化社会における社会福祉を考えるうえで重要な社会保障制度・政策に関する知識を身につけるとともに、社会福祉行政、財政および福祉サービス提供組織の管理・運営に関する知識を修得します。

- ・社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて修得します。
- ・現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解します。
- ・社会福祉にかかわる保険制度である年金保険制度、医療保険制度、介護保険制度、労働保険制度について学ぶとともに、保険制度以外の社会福祉制度についての知識を修得します。
- ・制度・政策的アプローチにより、社会福祉の政策全般の体系、法的根拠、関連する行政組織を中心に、財政政策、福祉計画、人材の養成、定着政策等の専門基礎知識を修得します。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
現代社会と福祉 4								
生活問題論②								
医学概論②								
心理学概論②								
社会学概論②								
相談援助の基礎と専門職 I 2								
相談援助の理論と方法 I ④								
地域福祉の理論と方法 ④								
相談援助の基礎と専門職 II ②								
相談援助の理論と方法 II ④								
社会調査の基礎②								
社会資源論②								
ボランティア・市民活動論②								
ユニバーサルデザインの理論と方法②								
福祉サービス提供組織と経営②								
福祉政策論②								

※表中の数字は単位数を表し、[]は必修科目、②は選択科目です。

1年		2年		3年		4年	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
				精神保健福祉制度論②			
				精神医学④	精神保健学④		
						精神保健福祉社 助演習Ⅱ②	精神保健福祉社 助演習Ⅲ②
						精神保健福祉社 助実習指導Ⅱ②	精神保健福祉社 助実習指導Ⅲ②
							精神保健福祉社 助実習⑤
						スクールソーシャル ワーク論②	スクールソーシャル ワーク実習指導①
						スクールソーシャル ワーク演習①	スクールソーシャル ワーク実習②

■精神保健福祉に関する施策および法制度を理解する
精神保健福祉分野において、実践の基盤となる基本的な法制度に関する知識や精神障害者の地域生活を支える制度について理解します。
・精神保健福祉法、医療観察法等を中心にソーシャルワークの視点から制度の概要と課題を理解します。
・精神障害者の生活支援（居住、就労、経済等）に関連する制度、福祉サービスの知識と支援内容について理解します。

■精神保健をめぐり課題、精神疾患とその治療法を理解する
ライフステージに関連づけながら精神の健康をとらえ、精神の疾患とその治療法について理解し、それらにおける精神保健福祉士の業務や役割を理解します。
・精神疾患と治療法について基礎的知識を理解し、チーム医療や多職種連携における精神保健福祉士の役割を理解します。
・精神医療と人権意識の歴史から、法制度の課題を理解します。
・現代の精神保健福祉の動向と課題、精神保健の諸課題とそれに対するアプローチを理解します。

■精神保健福祉援助の理論を実践に応用する
精神科医療機関、障害者支援施設等での実習を通して、精神保健福祉士に必要な基礎的な知識・技能等、精神保健福祉現場における課題の発見や解決方法を検討する力、精神保健福祉士としての自己の能力や適性について内省する力など、精神保健福祉士としての実践的な能力を身に付けます。
・演習における疑似的な体験を通して、精神障害者の置かれている状況の理解、共感的実践能力を養うとともに、問題の解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に修得します。
・精神保健福祉援助の基本となる知識・技能をもとに、多様に変化する生活問題に対処する能力を養い、ソーシャルワーカーとしての力量を常に高めていくとする姿勢を身につけます。
・精神保健福祉援助実習を通して、様々な生活課題を抱える精神保健福祉現場の実際に触れ、精神保健福祉の専門職への認識と自己理解を深め、実践的な力を身に付けます。
・精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者や家族への支援の実際に触れ、本人や家族のニーズを踏まえた実践的援助力を身に付けます。
・精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉士の業務内容や職業倫理への理解を深め、精神保健福祉士に必要な知識・技能や実践的指導力を身に付けます。

■学校におけるソーシャルワークの理論を実践に応用する
学校教育機関を中心とした援助過程について、地域内連携のあり方を含めて理解を深め、スクールソーシャルワークを実践する上で必要となる実践力を身に付けます。
・課題を抱える児童生徒及びその家族に関する援助の方法のあり方や、児童・家族を取り巻く生活環境上の調整に向けた地域における関連機関相互の連携のあり方を身に付けます。
・不登校、いじめによって不調をきたした児童生徒及びその家族、教師の状況を理解し適切に関わる知識を身につけるとともに、学習上又は生活上の困難を児童・家族が改善、克服に向えるような援助を行うために必要な理論や知識、技術を身に付けます。

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
<p>■児童期から老年期までの各機能の発達・道徳および精神保健の基礎理論を専門職あるいは社会人、家庭人として健康に過ごす能力について理解する</p> <p>児童生徒が健全に育つために必要な環境についての考えを深めるとともに、教育・福祉の現場で専門職として健康に働き抜くための知識と心構えを理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心身の発達や思春期特有の心性の理解、克服課題といったメンタルヘルスに関する知識を修得します。 ・児童期を取り巻く環境（養育者、保育施設、学校、地域、文化など）の現状を学び、今後の子育ち・子育てに何か必要であるかを考える力を身に付けます。 ・人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係、心理的支援の方法・実際について理解します。 ・「生きる力」としての精神保健についての基本知識の修得、ライフサイクルの節目に出現する問題への解決技能を修得します。 ・自己の限界を超えた疲労になりやすい対人サービス職の構造を理解し、我が身や家庭を守りながら自己実現するあり方を理解します。 ・各発達段階における課題と危機、人に備わる心の働きの発達・道徳や機能について理解します。 					見童心理学②	精神保健学④		発達心理学②
<p>■教育行政や学校組織とその管理運営に対する理解と児童・生徒への生徒指導のあり方を理解する</p> <p>児童・生徒への個別的な支援とスクールソーシャルワーカーとして教育機関の様々な専門職と連携を図るためにも教育行政や学校組織と管理運営について理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する基礎的諸概念と教育と社会との関係について基礎知識を修得します。さらに教育の制度に関わる事項について、学校や学級の経営に關わる基礎知識と学校の組織や管理運営のあり方を理解します。 ・我が国の教育制度に係る法令や国・地方行政組織のしくみを理解し、教育行政の果たす役割や学校等における教育活動との関係について理解します。さらに国や地方教育行政における教育改革の動きなど、教育の最新事情を把握します。 ・教育相談の基本的な心構えを修得し、学校で起こっているさまざまな問題の理解と支援について理解を深めます。 ・カウンセリングの基本的な考え方について理解し、さらに保護者への支援方法について理解します。 ・生徒指導が、問題行動を起こした生徒のみならず、準問題行動域の生徒及び一般生徒に対して学校教育活動全体を通じて援助・指導していくことを理解します。 ・生徒の問題行動の動向を捉えた上で、いじめ問題、児童虐待問題において、学校、教員に求められる生徒指導の在り方について理解します。 					生徒・進路指導の理論と方法②	教育行政学②		教育相談の理論と方法②
<p>■社会における福祉マインドを考え、多様化するニーズに対応する支援・サービスについて理解する</p> <p>福祉マインドを活かし、ソーシャルビジネス等の分野で必要となる基礎的な知識・技術を理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者、子ども・家庭、貧困状態にある人などが必要としている支援・サービスをビジネスの手法で支援し、解決へと導いていくソーシャルビジネスについて理解します。 ・ソーシャルビジネスの対象となる人々が抱える課題の解決に向けてどのように過程、“福祉のデザイン”の仕方について理解します。 ・地域社会における対人支援を要する生活課題の芽を発見し、これまでにないビジネスの手法により、新しい社会を開発していく最新事情を把握します。 		福祉デザインの基礎②	福祉デザイン実践演習②	福祉デザイン実践演習①②	福祉デザイン実践演習Ⅱ②			

※表中の数字は単位数を表し、□①は必修科目、□②は選択科目です。

